

● 7月1日(日) 晴 移動(鶴川～日高～芽室～土幌温泉)

・朝5時前、霧、気温16℃、道の駅「むかわ」で北海道最初の朝を迎えた。昨夜泊まった車は100台くらい、立派なキャンピングカーが多く、関西ナンバーの車が多い。どうも居心地が悪い。朝の支度を済ませ7時半に土幌温泉に向けて霧の中を出発した。無料高速を終点の日高富川で下りて国道237号線を日高へ向けて走った。この道は初めて走る道なので新鮮な気分で楽しみながら走った。

・途中に昔アイヌ民族の土地にダムを建設し大騒ぎした平取町二風谷ダムを通ったので、ちょっと寄ってみた。今は静かな二風谷湖と公園が出来ていた。



二風谷ダムと二風谷湖



幌尻岳登山口方面へ638号線

・そこから少し走ると638号線への入口があり「幌尻岳登山口」の大きな看板が立っている。現在はさまざまな通行規制が出来てしまい、簡単に入ることが出来なくなったので登るのを諦めた「幌尻岳」だけに、なんともやるせない気持ちで看板を眺めながら沙流川沿いの道を日高方面へと走らせた。

・道の駅「日高」に寄って小用を済ませた後帯広へ向けて晴天の穂別国道274号線を西へ向け快走するが、日勝峠に差し掛かると天気が急変して霧の中。それからしばらくは霧の中を走行し、帯広近くの芽室まで来てやっと太陽が顔を出した。昨年炎天の昼間に木陰で休息した懐かしい芽室公園に寄って一休み。ここから今日の目的地土幌温泉までは北へ向かってほんのひと走りだ。

12時前に道の駅「しほろ温泉」に到着した。

・ここは毎年泊まっているので全て熟知している。いつもは車がいっぱいの広い駐車場に、まだ時間が早いためか駐車はほとんどいない。まずやることは道の向こう側の公園にある水道で洗濯。天気が良いので車の回り一杯に洗濯物と布団などを広げて干した。隣に止まった車から若い御兄さんが下りて話しかけてきた。東京の会社を辞め帯広に来て3ヶ月、現在定職無し、2年間北海道で充電してからまた東京に帰り仕事を探すという。お兄さんかと思ったら55歳だという、頑張ってるね!



お馴染み道の駅「土幌温泉」

・暑くてたまらないので温泉へ行って時間をつぶしながら明日からの計画を練った。明日は天気が悪く3日と4日は晴天、4日の方が天気が良いらしいので、予定通り4日にニペソツ山に登ることとした。明日は、毎年寄っているが去年は寄れなかった鶴居の旧友に会いに行こう。電話して「明日昼ごろ何うよ!」なんだか昼飯をあてにしているようだね。日も傾いて大分涼しくなってきたので車に戻ったら、隣に止まった車から出てきたおじさん、帯広の塗装屋さんで広く北海道をテリトリーとしているらしい。北海道特有の塗装方法や、塗料の種類などいろいろ興味ある話をしてくれて楽しい時間を過ごした。6時から夕食を始め美しい夕焼けを眺めながらコーヒーで締めて、今日一日が終わった。

● 7月2日(月) 曇・雨 移動(土幌～白糠～鶴居～糠平)

・朝起きたら予報通り霧雨が降っている。気温は15°Cで寒い。8時前に霧の中を鶴居へ向かって出発した。まず本別に寄ったがまだ9時前じゃ道の駅は開いていない。昨年も寄った本別公園に行ってみたが雨の公園は牛若丸と弁慶の像がひっそりと立っているだけで誰もいない。昨年は天気良かったのでこの公園を散歩したのを思い出した。白糠町で太平洋に出てから海岸線を東へ走り、道の駅「しらぬか恋問」へ向かった。数年前に来た時は天気が良く、人と車でごった返していた恋問海岸も、霧雨に煙る今日は人の影もなく



誰もいない恋問海岸

寂しくひっそりとしていた。ここから道道53号を北上して鶴居へ向かい約束の12時前に懐かしい「大津食堂」に着いた。昨日は忙しくて電話にも出られないと云っていた大津食堂も小雨の月曜日の今日は誰もいなくて休業状態。店で呼んでも誰も出てこない。仕方ないから電話をした。やっと奥から女将さんが出てきて久しぶりの再会を果たした。実は足柄時代の私の旧友(部下)です。お互い大分年を取り、おじいさん、おばあさんになりましたね。大津食堂のスペシャルメニュー(ヤマメづくしの定食にジンギスカンまで)をご馳走になりながら、いろいろと積もる懐かしい話に花が咲いて楽しい時を過ごした。お土産に手作りの陶芸品までいただいて鶴居を後にし、今日の目的地糠平へ向かった。



お土産に手作りの陶芸品までいただいて鶴居を後にし、今日の目的地糠平へ向かった。



霧に煙るダート道



1093号線 鶴見峠

・鶴居から阿寒湖まで道道1093号を走ったが、これはすごいダート、冬季は通行止めになる区間が2ヶ所もあるが「鶴見峠」なる立派な峠があり、晴れていたらかなり楽しい道だったろうと思った。

・今日の宿は昨年もお世話になった民宿「グリーン糠平」にした。おじさん、おばさんとも私をうっすらと覚えていてくれたようで、歓迎してくれた。まだ5時過ぎで真っ昼間だというのに2Fの部屋「トムラウシ」にはもう布団が敷いてあり、風呂も用意してくれてあった。今日の泊り客は私一人らしい。釣り好きの親父さんは私と同年の15年生まれ。ビールを飲みながら親父さん手作りのトラウトの冷凍刺身や魚づくしの夕食を頂き、8時過ぎまでいろいろ話し込んで楽しい夜を過ごした。

今日は久しぶりに畳の上で布団で寝られる。明日は山には登らないのでゆっくり寝よう。

(民宿「グリーン糠平」とおじさん、おばさんの写真を撮らなかったのが残念だ)

● 7月3日（火） 曇・晴 トナムへ行ってみる

・今日7月3日は私の誕生日、民宿「グリーン糠平」の布団の中で気持ち良く目が覚めた。このところ毎年北海道で一人で誕生日を迎えている。外は霧が立ち込め寒そう。うとうとしながら布団の感触を楽しんで6時に起きた。一階の食堂へ下りて行くともう朝食の準備ができていて待っている。親父さんといろいろ話をしながらゆっくり朝食を頂いた。8時過ぎるころから霧が晴れて太陽が顔を出して来た。明日は天気良さそうなのでいよいよニペソツ山に登ることにした。今日はこれから明日の食料調達のため土幌へ下る。出発前にお茶を飲みながら話をしていたら、おじさん、おばさんとも創価学会で、富士宮へ行ったことがあると云う。そこで今回東北の被災地に持ってきた富士山の写真を差し上げたら、懐かしいと云って大喜びだった。9時過ぎまでお話をしたりしてゆっくりし、おばさんに見送られながら土幌へと向かった。今日は一日予定が無いので、大好きなトナムへ行ってみようと、土幌から瓜幕を通り狩勝峠を越えてトナムに向かった。12時前にトナムに着いた。



トンネルの道がレストランホールとホテルをつなぐ



・なんとホテルからレストランホールまでつなぐトンネルの道が新しく作られていた。いろいろの棟をトンネルの道でつなぐのが好きなホテルだ。冬のスキーシーズンに備えてのことだろう。

早速ホテルからレストランホールまで歩いて見た。また朋子と遊びに来たいなと思いながらゆっくりとトナムを楽しんだ。

・帰りは明日予定のニペソツ山に備えての食料を買い込んで糠平へ戻った。今夜の泊まりは登山口に少しでも近いところということで、糠平から10kmくらい北にある「除雪センター」に決めた。ここは人里離れて寂しい所だが駐車場に24時間トイレが完備している。5時過ぎに着くと、なんと、長岡ナンバーの車で新潟の男女3人組、宮崎の車でおじさん一人がすでに泊まっている。みな



明日はニペソツ山へ
除雪センター前に3台整列

さん明日はニペソツ山に登ると云う。こりゃ賑やかで楽しいぞ。みなさん明朝は3時だとか4時だとか云って、早々に食事を済ませて寝てしまった。おいおい まだ6時半、太陽が沈んだばかりでまだ明るいぞ！ 私はゆっくり食事をして、コーヒーを飲みながら至福のひと時を過ごした。空はなんとか晴れている。ここは電波が届かないから情報も無い。明日のニペソツ山に夢を馳せながら眠りに着いた。